

**第 39 回群馬県スポーツ少年団秋季バレーボール交流大会  
兼第 44 回群馬県小学生総合体育大会バレーボール競技会  
開催要項**

- 1 趣旨 県下のバレーボールを愛好する少年団員（小学生）を一堂に集め、大会に参加させることにより、技術の向上と競技の歓びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図りバレーボールの普及・振興に寄与することを目的とする。
- 2 主催 (公財) 群馬県スポーツ協会・群馬県スポーツ少年団・上毛新聞社・群馬県バレーボール協会
- 3 後援 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県小学校体育研究会・高崎市教育委員会・  
(予定) 藤岡市教育委員会・渋川市教育委員会・太田市教育委員会・桐生市教育委員会・群馬テレビ・(株)モルテン
- 4 主管 群馬県スポーツ少年団バレーボール専門部会・群馬県小学生バレーボール連盟
- 5 日時 令和 2 年 10 月 18 日（日）、25 日（日） 男女クラス  
令和 2 年 11 月 1 日（日）、3 日（火） 男子 女子 混合クラス準決、決勝
- 6 会場 18 日：藤岡市民体育館 25 日：子持社会体育館 太田小体育館  
1 日：高崎群馬・子持社会体育館 3 日：新里社会体育館
- 7 競技規則 令和元年度（公財）日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則による。  
但し、小学生の為の特別規則を用いる。  
ネットの高さ 2 m・使用球は 4 号軽量球カラーボール（新ボール）  
ユニホームの胸・背番号は 1～14 までが望ましい。
- 8 チーム編成 監督 1 名・コーチ 1 名・マネージャー 1 名・選手 12 名 合計 15 名以内  
参加資格 監督・選手は日本スポーツ少年団に登録済みの指導者及び団員であること。  
**但し、代表者・監督・コーチ・マネージャーは、少なくとも 2 名がスポーツ少年団認定育成員もしくは認定員、またはコーチングアシスタントのいずれかの有資格者でスポーツ少年団の理念を学んだ者であること。**  
同一の都道府県の国・公・私立小学校及び各種学校に在籍し、あるいは在住している者で、4 月 1 日現在 12 歳未満の者。
- 9 抽選方法 群馬県スポーツ少年団バレーボール専門部会並びに群馬県小学生バレーボール連盟本部役員による責任抽選とする。
- 10 審判員 参加チームより 1 名帯同すること。（県小連公認資格者及び認定者）
- 11 申込み先 別紙申込書に必要事項を記入のうえ、9 月 12 日（土）までに参加費を添えて支部長に申し込むこと。
- 12 参加費 1 チーム 3,000 円
- 13 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

本大会は、第 39 回群馬県スポーツ少年団秋季バレーボール交流大会兼第 44 回群馬県小学生総合体育大会バレーボール競技会大会運営ガイドライン及び下記のとおり、感染拡大防止対策を実施する。

- (1) 大会当日は、待機場所や観戦場所、動線誘導等、大会運営員の指示を遵守すること。
- (2) 大会日から14日以内に、発熱や風邪、咳、痰、胸部不快感、強いだるさや倦怠感及び味覚・嗅覚を感じない等の症状がある場合には、参加を認めない。
- (3) 大会日から14日以内に、感染が拡大している地域や国への訪問歴がある場合には参加を認めない。
- (4) 大会参加者に感染が判明した場合、速やかに群馬県スポーツ少年団本部（TEL 027-234-5555）に連絡すること。その際、感染者の健康報告書や参加申込情報を関係機関に公表する場合がある。
- (11) 大会会場に入場できるのは、事前に申込のされている引率者・監督・コーチ・選手・保護者のみとし、申込みのない者の入場は認めない。
- (12) 健康報告書に記入された申告内容の虚偽や、大会運営において著しい妨害行為（マスク未着用、大会運営員の指示に従わない等）が認められた参加者並びにチームは、大会参加の取り消しや以降の活動へのペナルティを課す場合がある。

#### 1.4 その他

- (1) 参加については学校行事を確認のうえ（授業参観等）申し込むこと。
- (2) 大会会場での上下の履物を区別すること。空き缶弁当等の食べかすは持ち帰ること。
- (3) 大会中の怪我については主催者側が応急手当をするが、それ以外の責任は負わない。
- (4) 原則として男子上位1チーム及び女子Aクラス上位2チーム混合1チームを11月29日（日）に神奈川県で開催される第36回関東小学生バレーボール大会の出場チームとして推薦する
- (5) 新型コロナウイルス感染症の拡大等により、群馬県の警戒レベルの引き上げや施設の利用制限の変更等が生じた場合には、大会開催を中止する場合がある。